



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社リログループ 上場取引所 東
 コード番号 8876 URL <https://www.relo.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 謙一
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 門田 康 (TEL) 03-5312-8704
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向けカンファレンスコール)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	79,588	20.8	1,871	△46.9	2,076	△46.1	991	△59.0
2020年3月期第1四半期	65,873	9.3	3,523	△11.0	3,855	△5.7	2,414	△10.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,528百万円(△31.3%) 2020年3月期第1四半期 2,223百万円(△27.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年3月期第1四半期	円 銭 6.55	円 銭 5.55
2020年3月期第1四半期	16.17	14.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	217,831	47,800	20.6
2020年3月期	227,965	52,150	21.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 44,921百万円 2020年3月期 49,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	29.00	29.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税金等調整前 当期純利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	△7.4	9,800	△45.2	11,300	0.6	5,500	44.0	36.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	152,951,200株	2020年3月期	152,951,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,998,169株	2020年3月期	1,462,769株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	151,292,215株	2020年3月期1Q	149,306,463株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、日本企業の海外進出が活発化し、企業のグローバルな競争が激化する環境下において、「日本企業が世界で戦うために本業に集中できるよう、本業以外の業務をサポートすること」、「真のサムライパワーを発揮できるよう、日本企業の世界展開を支援すること」、また、これらの活動を通じ、「これから始まる日本の大転換になくてはならない存在になる」という使命のもと、「グローバル・リロケーションカンパニーNo. 1」というビジョンを掲げております。このビジョンの実現に向けて、2023年3月期を最終年度とする4ヵ年の中期経営計画「第三次オリンピック作戦」においては、市場シェアダントツNo. 1に向けた国内事業のさらなる強化に取り組むと同時に、世界の市場にリーチする土台作りに挑んでおります。新型コロナウイルス感染症拡大による市場環境の変化を考慮し、当連結会計年度の業績計画は前期を下回るものとなりますが、「第三次オリンピック作戦」最終年度となる2023年3月期目標達成に向け取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間は、前連結会計年度にグループ入りした複数の企業が事業基盤拡大に寄与したことなどから増収となりました。一方、新型コロナウイルス感染症拡大による世界的なロックダウンや渡航制限等の影響により、人の移動が制限されたことから、国内外で顧客企業による赴任サポートや出張サポートへのニーズが減少し、税金等調整前四半期純利益は前期を下回る結果となりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、以下のとおりであります。

売上高	795億88百万円	(前年同期比 20.8%増)
営業利益	18億71百万円	(前年同期比 △46.9%減)
税金等調整前四半期純利益	20億29百万円	(前年同期比 △49.3%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	9億91百万円	(前年同期比 △59.0%減)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、意思決定と業務遂行を迅速かつ効率的にすることを目的に報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較分析は、変更後の区分に基づいております。

また、2019年6月28日に行われたBGRS Limitedとの企業結合について前第1四半期連結会計期間に暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定したため、前年同四半期連結累計期間との比較分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

① リロケーション事業

当事業は、借上社宅管理事業、賃貸管理事業、赴任支援事業等国内外で日本企業の人の移動を総合的にサポートしております。借上社宅管理を中心に物件検索等による転居支援、留守宅管理等を手掛けております。併せて賃貸不動産の管理や仲介をはじめとした賃貸管理事業を展開し、企業の住宅に関する様々なニーズに応えるべく総合的にサービスを展開しております。また、赴任支援事業においては日本企業を支援すべく、北米をはじめとした現地において、赴任前から帰任に至るまで、海外赴任サポート等のサービスを総合的に展開しております。

当第1四半期連結累計期間は、借上社宅管理事業の管理戸数が前期を上回ったことで管理手数料収入が伸張したほか、賃貸管理事業において前連結会計期間にグループ入りした企業により管理戸数が増加するなど、事業基盤の拡大に寄与しました。一方、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等の影響を受けた顧客企業の対応により、赴任支援事業における海外赴任支援世帯数が減少しました。

これらの結果、売上高611億44百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益14億4百万円（同40.6%減）となりました。

② 福利厚生事業

当事業は、企業の業務負担とコストを軽減し様々なコンテンツを従業員へ提供する福利厚生代行サービスや、提携企業向けに顧客特典代行サービス等を提供しております。また、関連事業として住まいの駆け付けサービスを手掛け、顧客会員の生活を総合的にサポートしております。

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等により複数の宿泊施設やレジャー施設が営業休止となった影響を受けましたが、費用削減を推進したことから業績は前期を上回って推移しました。加えて、関連事業である住まいの駆け付けサービスの業績も好調に推移しました。

これらの結果、売上高51億71百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益22億39百万円（同28.4%増）となりました。

③ 海外戦略事業

当事業は、グローバル企業に対する赴任管理サービスや海外赴任に関連する各種データの提供など、グローバル企業で働く人々の移動を支援するとともに、当社グループが世界の市場にリーチする土台作りに挑んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、前連結会計年度にグループ入りしたBGRS Limitedが事業基盤の拡大に貢献した一方、新型コロナウイルス感染症拡大により北米をはじめとした世界各地でロックダウンが発生したことから、顧客企業による移動に関連するニーズが減少し、営業利益は前期を下回りました。

これらの結果、売上高118億54百万円（前年同期は5億26百万円の売上高）、営業損失5億33百万円（前年同期は52百万円の営業損失）となりました。

④ 観光事業

当事業は、福利厚生事業の会員基盤や企業の保養所をはじめとした地方の中小型のホテル、旅館の運営ノウハウを活用し、ホテル運営事業と別荘のタイムシェア事業を展開するほか、後継者問題を抱えるホテル、旅館の再生にも取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令期間を中心に、宿泊のキャンセルが多数発生しました。一部施設を休業し、販売関連費用をはじめとした費用削減を推進しましたが、宿泊数の減少をカバーするには至りませんでした。

これらの結果、売上高13億2百万円（前年同期比60.1%減）、営業損失4億74百万円（前年同期は5億59百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比して101億34百万円減少し、2,178億31百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比して57億84百万円減少し、1,700億30百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比して43億49百万円減少し、478億円となりました。これは剰余金の配当が43億93百万円発生したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は、想定通りに推移しており、2020年5月22日に発表した「2020年3月期決算短信」に記載の連結業績予想に変更はありません。

なお、「2020年3月期決算短信」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,052	30,817
受取手形及び売掛金	50,151	43,260
販売用不動産	22,354	22,069
貯蔵品	953	1,234
前渡金	18,409	17,611
その他	12,444	13,759
貸倒引当金	△43	△57
流動資産合計	138,323	128,696
固定資産		
有形固定資産		
建物	15,325	16,259
減価償却累計額	△4,590	△4,802
建物(純額)	10,734	11,457
工具、器具及び備品	2,951	2,729
減価償却累計額	△1,984	△2,015
工具、器具及び備品(純額)	967	713
土地	7,768	7,741
その他	4,844	4,844
減価償却累計額	△1,744	△1,918
その他(純額)	3,099	2,926
有形固定資産合計	22,570	22,839
無形固定資産		
のれん	15,756	15,364
顧客関連資産	11,543	11,272
ソフトウェア	5,301	5,602
その他	28	27
無形固定資産合計	32,628	32,267
投資その他の資産		
投資有価証券	13,047	12,892
敷金及び保証金	14,736	14,533
その他	6,743	6,667
貸倒引当金	△176	△148
投資その他の資産合計	34,349	33,944
固定資産合計	89,548	89,050
繰延資産		
社債発行費	15	11
その他	77	72
繰延資産合計	93	83
資産合計	227,965	217,831

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,741	8,785
短期借入金	19,819	16,287
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	25,572	25,416
1年内返済予定の長期借入金	9,847	9,821
未払法人税等	3,484	1,239
前受金	21,172	22,173
賞与引当金	1,001	759
その他	22,204	21,681
流動負債合計	111,843	106,164
固定負債		
社債	827	611
長期借入金	49,447	49,383
長期預り敷金	7,349	7,314
その他	6,346	6,556
固定負債合計	63,971	63,866
負債合計	175,815	170,030
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,667	2,667
資本剰余金	2,722	2,584
利益剰余金	48,644	45,235
自己株式	△2,666	△3,965
株主資本合計	51,368	46,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	21
為替換算調整勘定	△2,103	△1,562
退職給付に係る調整累計額	△56	△59
その他の包括利益累計額合計	△2,145	△1,600
新株予約権	125	155
非支配株主持分	2,801	2,723
純資産合計	52,150	47,800
負債純資産合計	227,965	217,831

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	65,873	79,588
売上原価	54,671	66,022
売上総利益	11,201	13,565
販売費及び一般管理費	7,678	11,694
営業利益	3,523	1,871
営業外収益		
受取利息	160	161
受取配当金	4	25
持分法による投資利益	152	257
その他	155	119
営業外収益合計	472	564
営業外費用		
支払利息	77	120
為替差損	3	188
その他	59	50
営業外費用合計	140	359
経常利益	3,855	2,076
特別利益		
固定資産売却益	7	2
投資有価証券売却益	151	0
その他	—	2
特別利益合計	158	4
特別損失		
関係会社株式評価損	—	15
その他	11	35
特別損失合計	11	51
税金等調整前四半期純利益	4,002	2,029
法人税、住民税及び事業税	1,166	967
法人税等調整額	364	81
法人税等合計	1,530	1,049
四半期純利益	2,471	980
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	56	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,414	991

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	2,471	980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	173	13
為替換算調整勘定	△414	559
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△24
その他の包括利益合計	△247	548
四半期包括利益	2,223	1,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,169	1,536
非支配株主に係る四半期包括利益	53	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	リロケーション 事業	福利厚生事業	海外戦略事業	観光事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	56,545	5,404	526	3,261	65,738
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36	33	17	6	93
計	56,581	5,438	543	3,268	65,832
セグメント利益又は損失(△)	2,364	1,743	△52	559	4,615

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	134	65,873	—	65,873
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33	127	△127	—
計	168	66,000	△127	65,873
セグメント利益又は損失(△)	4	4,620	△1,096	3,523

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融関連事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△1,096百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△616百万円、子会社株式の取得関連費用△472百万円含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務経理部門等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 2019年6月28日に行われたBGRS Limitedとの企業結合について前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行ってりましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、主として無形固定資産である顧客関連資産に11,236百万円が配分された結果、暫定的に算定されたのれんの金額は23,419百万円から10,690百万円減少し、12,729百万円となりました。

なお、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外戦略事業」において、当社が設立したRelo Group Ontario Inc.を通じて、BGRS Limitedの株式を取得したため、BGRS Limited及びその子会社22社を連結の範囲に含めております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては12,729百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	リロケーション 事業	福利厚生事業	海外戦略事業	観光事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	61,144	5,171	11,854	1,302	79,473
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	33	17	7	72
計	61,158	5,205	11,872	1,310	79,546
セグメント利益又は損失(△)	1,404	2,239	△533	△474	2,635

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	115	79,588	—	79,588
セグメント間の内部売上高 又は振替高	37	110	△110	—
計	152	79,699	△110	79,588
セグメント利益又は損失(△)	△49	2,586	△714	1,871

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融関連事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△714百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△714百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務経理部門等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度において、各事業間におけるシナジーとシステム投資などの経営資源配分をより効率的に実施するため、事業セグメントの変更を行いました。更なる権限移譲と責任の明確化及びスピード経営を目的に経営管理体制を再構築するため、当連結会計年度より再度事業セグメントを変更いたします。

具体的には、前連結会計年度において「国内リロケーション事業」、「福利厚生事業」、「赴任支援事業」、「海外事業」、「観光事業」としていた報告セグメント区分を、当連結会計年度より「リロケーション事業」、「福利厚生事業」、「海外戦略事業」、「観光事業」へ変更いたします。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。